

# RCX用センサライブラリのインストール方法

## ○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレルは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

作成日:2009/01/20

変更日:2014/05/14

変更日:2016/04/05

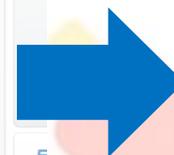
# [ RCXセンサライブラリのインストール ]

- 教育用NXT ソフトウェア ver2.0で、RCX用センサを使ってプログラミングを行いたい場合には、Legacy Block Library(Japanese) のインストールが必要です。
  - インストールには、管理者権限が必要です。
- <https://education.lego.com/ja-JP/downloads> を開きます。  
ダウンロードタイプの「プログラミングブロック」を選択します。

※LEGO Educationのダウンロードページからダウンロードできない場合は、アフレルのダウンロードページ  
(<http://www.afrel.co.jp/archives/5482>) から「RCX用センサライブラリ」をダウンロードしてください。



その中から下図のブロックをダウンロードします。  
(Windows用とMac用があります)



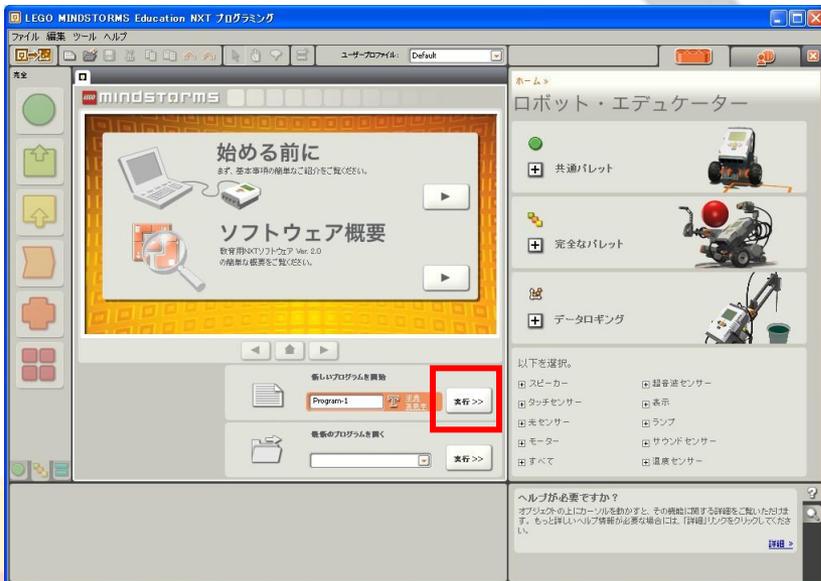


# [RCXセンサライブラリのインストール]

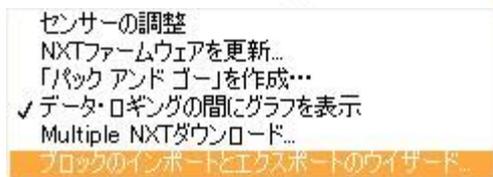
- ダウンロードしたファイルを解凍してください。解凍すると以下のようなファイルが作成されます。

名前	サイズ	種類
Light		ファイル フォルダ
Old Light Sensor		ファイル フォルダ
Old Motor		ファイル フォルダ
Old Rotation Sensor		ファイル フォルダ
Old Touch Sensor		ファイル フォルダ
Temp Sensor		ファイル フォルダ
LEGO Mindstorms EULA - Japanese.rtf	241 KB	リッチ テキスト形式
Read Me (Legacy Blocks, JP-JP).txt	10 KB	テキスト ドキュメント

- 教育用NXT ソフトウェア ver2.0 を起動し、「実行」ボタンを押してください。



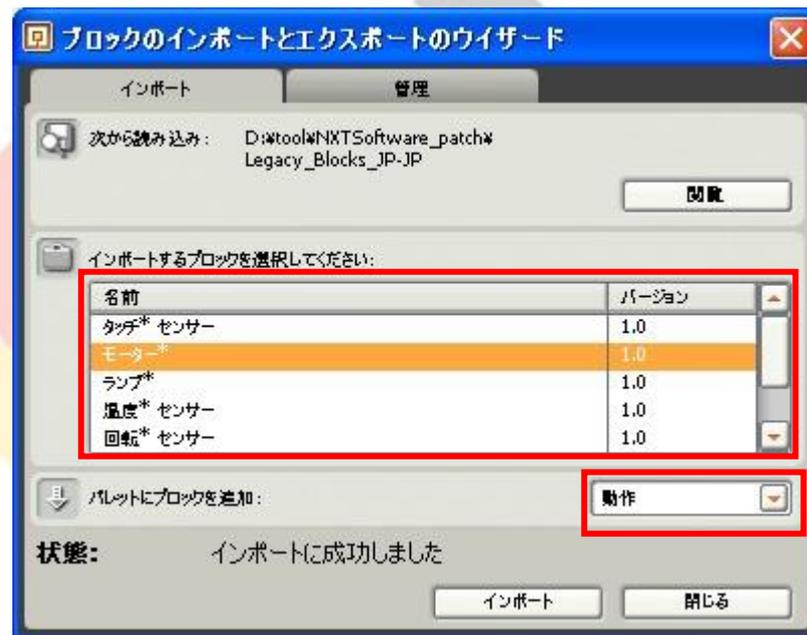
- メニューの「ツール」から「ブロックのインポートとエクスポートのウィザード」を選択します。



- ブロックのインポートとエクスポートのウィザード画面で、「閲覧」ボタンを押して、先ほど解凍してできたフォルダを選択すると、インポートするブロック一覧が表示されます。
- インポートするブロックを選択します。(複数選択する場合には、コントロールキーを押しながら選択します。) パレットにブロックを追加を選択して、どのパレットに追加するのかを決め、インポートボタンを押します。

・インポートするブロックは、「モーター\*」を選択してください。

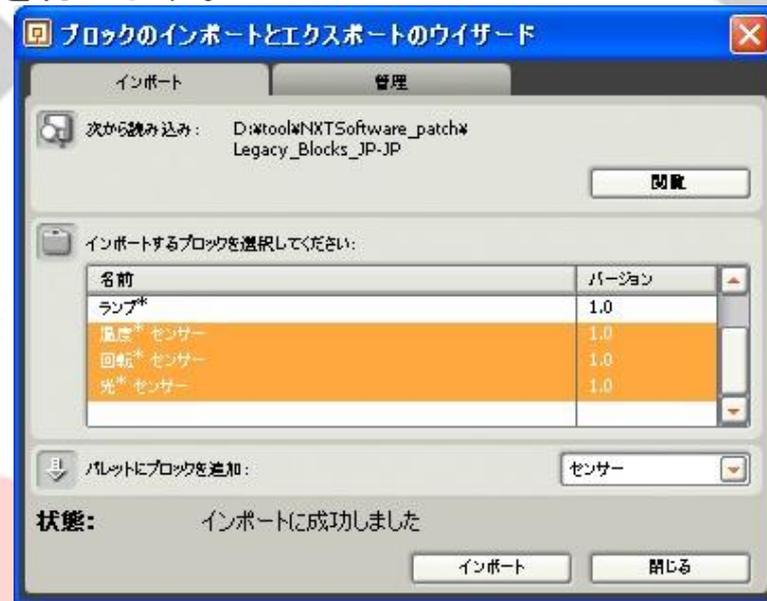
・インポートを行うパレットは、「動作」を選択してください。



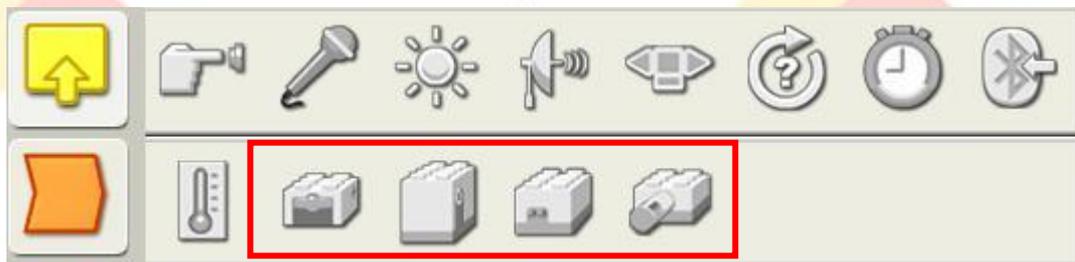
- その他のブロックも同様にしてインポートを行います。

・インポートするブロックは、「タッチ\*センサー」、「温度\*センサー」、「回転\*センサー」、「光\*センサー」を選択してください。

・インポートを行うパレットは、「センサー」を選択してください。



- 教育用NXT ソフトウェア ver2.0 を終了して、再起動してください。追加したセンサーが表示されていればインストールは完了です。



その他、詳細は、Legacy Block Library (Japanese) を解凍したフォルダ配下の Read Me (Legacy Blocks, JP-JP).txt を参照してください。